○1 東九州の中心都市/コンパクトシティ 1

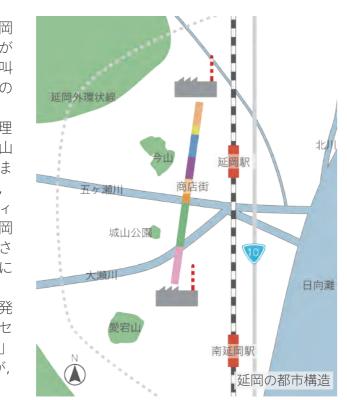






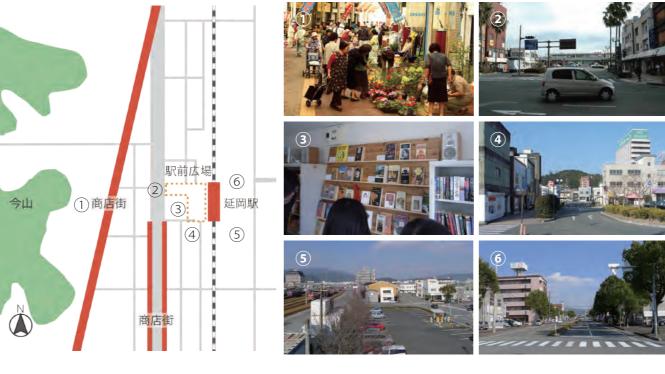
九州新幹線の開業や東九州自動車道の開通後も、福岡 から見て最も遠い街が、この延岡です。人口や商業が 大都市に集中し, 地方都市では中心市街地の衰退が叫 ばれる今日、これは短所でしょうか?私たちは、この 遠さこそ,延岡の伸ばすべき長所だと考えます。 昭和 29年, 吉田初三郎は戦後復興を目指す延岡の理 想的な姿を描きました。この絵図には,東京や富士山 から鹿児島まで広がり、高千穂や阿蘇を越えて熊本ま でつながる「東九州の中心都市」としての重要性と, 山と海に囲まれ、3つの川が流れる「コンパクトシティ の豊かさ」が、魅力的に描かれています。さらに延岡 は、近年の合併によって、近隣に海、山、川の豊かさ も充実させました。このような「可能性」を活かすに はどうすればよいでしょうか?

そのためには、南北に立地する二つの工場によって発 展し、ショッピングセンターと同じ仕組み(2つのセ ンターと1つのモール)によって成り立つ「閉鎖性」 を打ち破ることが必要だと考えます。そのキッカケが、 延岡駅周辺整備なのです。



02 延岡駅周辺の特徴 1

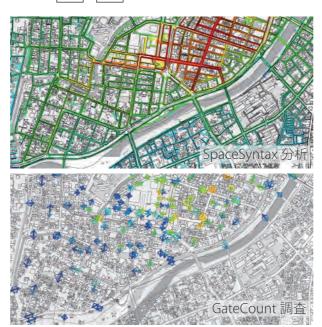
延岡駅は,市民の努力で維持されている商店街 に隣接していますが、全く連携していません。 賑わいを見せる山下新天街門前市(①)に、延岡 駅から向かう人はいません。この理由は、旗竿 敷地のように県道から奥まって立地し、街と一 皮隔てられている(②)ことだと考えます。その 結果, 駅周辺はまるで裏町のようです。国道が 走る東側とは、広大な鉄道用地(⑤)で隔てられ、 東側の駅前も,茫漠とした風景が広がっていま す(⑥)。しかし、駅前広場に面して、空きビル の一室を使った洋書店&カフェ(③)が開店し, 南側の通りは、今山への山アテとなり、商店街 まで見通せる気持ちのいい眺め(④)となってい ます。居酒屋やクレープ店、コンビニが南側に あるのも、こちらを歩く人が多いからでしょう。 駅周辺整備に求められるのは, 見通しや流れを 活かし,「ウラ」を「オモテ」に変えていく作法 だと考えます。



○ 問題点を共有するための調査・分析(実績 D) 1 4



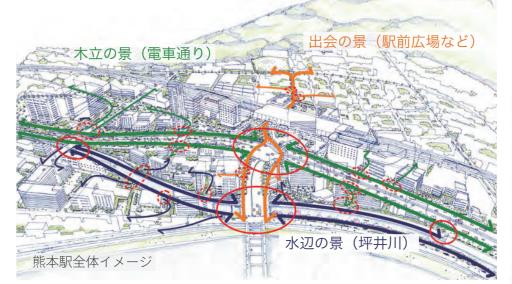
ズホームに目が届くところでお茶を たり。これらは意匠の問題ではな 〈,プログラム•仕組みの問題です。



細かな道まで含めて網羅的に把握 する調査を行いました。 SpaceSyntax 分析や GateCount 調

のか,つながりの悪い街路はどこ なのか、街のポテンシャルや問題 点を総合的に把握し、わかりやす い表現によって示すことができま す。デザイン監修や市民参加にお いては,延岡の街が持つ課題を明 快に, 市民と共有することが必要

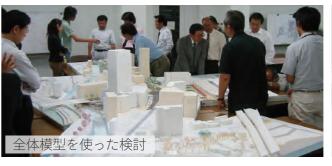
○4 デザイン監修と市民参加 ~ 熊本駅の経験から(実績 A) ② 3 4



さを実現するための工夫に「景」という分かりやすい言葉を与えたもの 車道・軌道など)と民有空間(建築物・空地など)ともに一体的に「景_ ている風景を大切にしながら,都市デザインを考えていきます。



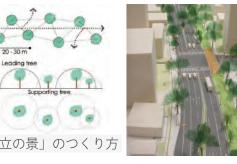
私たちは,この3月に新幹線開業を迎える熊本駅周辺の都市デザインに「景」は市民目線(すなわちアイレベル)で都市空間をとらえ,見えてい おいて、3つの「景」というコンセプトを考えました。これは熊本らし る範囲を一体的に整備することを目指しています。まず、公共空間(歩道 を実現することが重要です。人に近い場所にある舗装・柵・街灯・サイン れぞれの整備の考え方を展開していくことで全体をつくっていきます。 などのデザインをトータルに検討します。これら様々な管理区分を超えて 整備範囲を超えた周辺の山や川までを考慮することで,人々がいつも見 整備を進めていきます。3 つの「景」のように特徴的な場所では,それぞ れの個性を活かして、一体感を与えています。



このような場作りが重要だと考えます。



行する検討を一つにまとめるプラットフォームなデザインは広々とゆるやかに水辺へと誘うう簡単な論理をつくりました。この三角形が街 をつくることが重要です。この一つの方法とし スロープです。車椅子を利用する方の「本当 全体に広がっていくことを望んだものです。 て、大きな模型が力を発揮します。ここに示しは、、降りられるだけじゃなくて、みんなと一 た模型は 63.2ha に及ぶ熊本駅周辺整備の約半分 緒に気持ち良く降りたいんだよね」という デザイン監修では,市民目線に立つことが重要

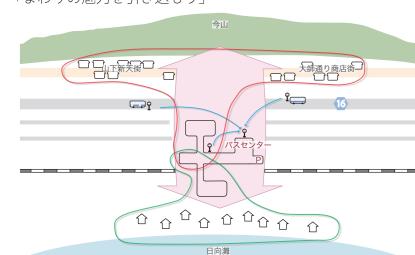


に当たります。各担当者がそれぞれの対象につ 言が、このデザインにつながりました。要望 で,市民参加は必須です。「デザイン監修=市民 いて議論をしながら、全体の調和を図っていく、にはならないような、ちょっとしたつぶやき参加」という枠組みでは、事業者や市民がとも に対して、耳を傾けることが大切だと考えます。 に参加できる分かり易い言葉と論理が大切です。

05 市民とともにつくる課題のイメージ 2 3

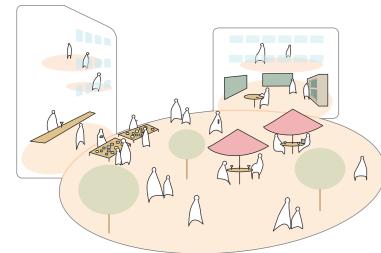
市民の声をデザインに結びつけていくには,個別の要望をとりまとめ図式化しくことが必要です。それらは,市民と「ともに取 り組める課題」となるでしょう。以下にその課題のイメージを示します。

「まわりの魅力を引き込もう」



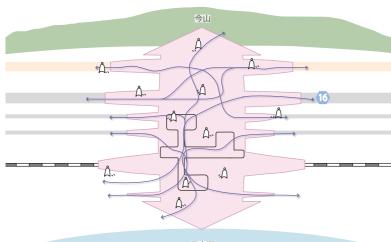
切り離された東西を駅でつなぎたい。そのためにまず、 バス停や駐車場などの機能を駅前広場に集め,乗り換 えやすくする。同時に、今山や日向灘などの資源を駅に 引き込み,結び合わせるようなデザインが欲しい。

「内と外をひとつに使おう」



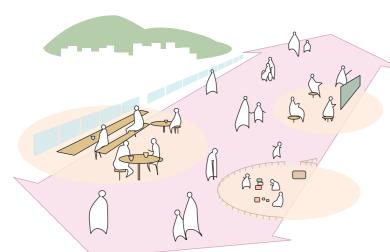
建物の内と外、別々に使っていては、もったいない。 屋内で借りた本を、陽光の中で読む。室内でお酒を飲 みつつ、外では夜市。うまく使えば公園のように気持 ちよくて、いろいろな使い方ができる場所になる。

「歩いてどこでも行きやすくしよう」



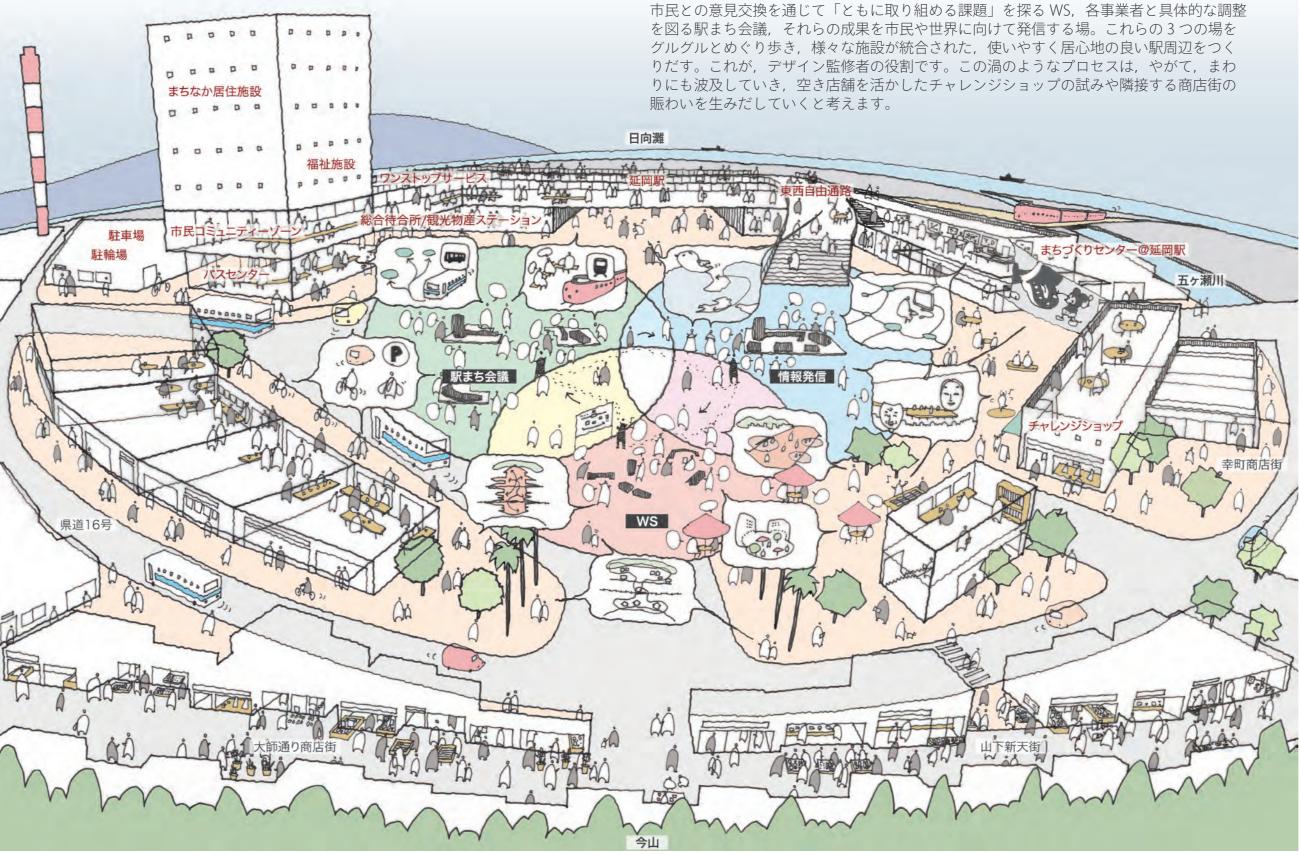
駅は、電車やバス、自動車などの「速い交通」だけの ものではない。歩く人、障害を持った人の「遅い交通」 のためでもあるはず。延岡駅は「遅い交通」を主役と しよう。そうすれば自然に街と駅がつながり、賑わい が生まれてくるだろう。

「通りを広場へ,広場を通りへ」



歩く人、休む人、いろんな人がひとつの場所を共有で きるようにしたい。自由通路も,通るだけの場所なら, 全然、自由じゃない。遠くの景色を眺めながら、ゆっ くりしたい。広場だって, 近道に使えたらもっといい。

○6 延岡駅周辺整備のイメージ 1 2 3



07 スケジュールのイメージ 2 3 4

延岡駅周辺整備における具体的な課題として、「事業者、関係者が多岐にわたる」、「供用しながらの施工(工程計画が難しい)」、 「設計・施工の工期は、それほど長くない」、「市民にとって、平成27年度の完成は遠い」などがあげられます。これらの課題を 効率的に解決し,市民感情を高めていくためには,プロセスのデザインが重要です。ここには,平成27年度までのスケジュー ルのイメージを示します。大切なことは、延岡市民も、日本中、世界中の人たちも、ともに参加できるプロセスを提供し続け ることだと考えます。

平成 23 年度

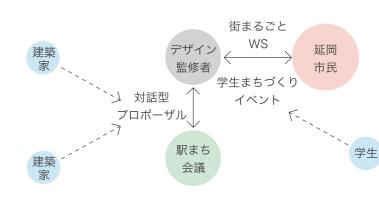
基本計画を作成するにあ と連動させた調査・分析を 議結果の精査や配置・動線 計画, 設計仕様の決定に対 して,重要な根拠となりま

○地域経済活性化を 目指した拠点施設の ○新しい発注方式



平成24年度

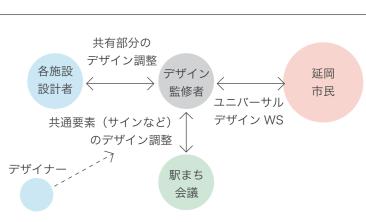
対話型プロポーザルなど を通じて,各施設に優秀な 設計者を選定します。ま た,「学生まちづくりイベ ント」や「街まるごとWS」を 通じて,より広い視点でま ちづくりの議論を展開し





平成25年度

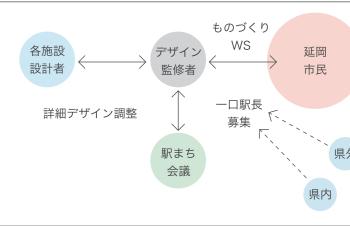
「ユニバーサルデザイン WS」を市民と行うことで, サインなどの共通要素や 境界部の共有部分に関し て『使い勝手の検証』を行 います。個別な要素に関し ては専門のデザイナーをデザイナー 招きます。





平成 26 年度

それぞれの設計者と詳細 デザインの調整を行いな がら,市民とともに整備の 準備も始めていきます。街 具などを市民とともにつ くる「ものづくりWS」や世 界中に参加を呼びかける 「一口駅長募集」などが想 定されます。





平成 27 年度

設計者たちと施工監理を 徹底して行いながら,「み なまつり@駅前」や「空き 店舗活用イベント」の開催 など,市民と完成にむけた 準備を行っていきます。こ れらは,完成後の利活用に 関するプレイベントとな

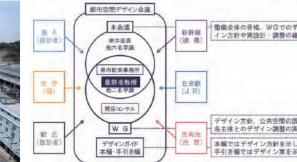
みなまつり



実績データ 4

- A. 熊本駅 / 駅周辺整備都市デザイン ○期間:平成17年度~30年度(事業完了予定) ○事業主体:熊本県・熊本市
- ○主な事業(整備範囲63.2ha) 新幹線事業,連立事業,区画整理,市街地再開発, 合同庁舎, 熊本駅駅舎, 都市計画道路整備
- WGを86回, 本会議を12回, UDWSを4回開催し 関係者間でのデザインの検討・調整を行う。





- B. 小浜北有馬線 / 街路デザイン(長崎県))期間:平成17年度~21年度(事業完了)
-)事業主体:長崎県)主な事業(全体計画延長900m) 道路改良事業(道路拡幅,線形改良)
- ○実績内容 バイザーとして,全体の方向性から詳細形状までを監修。住 民ら約30名が参加するWSを1年間で6回開催





- C. 昭和通線・小戸之橋 / 橋上・街路景観デザイン(宮崎県) ○期間:平成21年度~35年度(事業完了予定) ○事業主体:宮崎市
- ○主な事業(橋長506m) 小戸之橋架替事業, 取付道路拡幅事業)実績内容 宮崎大学と協働し,橋梁,橋上,橋詰,街路などのデザイン

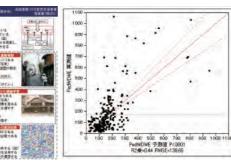


を検討。模型やCGを使って住民と意見交換をするWSを3回開

D. 熊本市中心市街地 / 地域景観づくり緊急支援事業 ○期間:平成21年度

○事業主体:熊本市 ○主な事業

地域資源を発掘し地域活動と連携させた回遊行動創出への取 ○実績内容 り組み:「路上公園"Park on the Road"の社会実験に向けた基 唐津で2度、三角、門司、佐世保、別府で開催。九州大学、 「旧城下町地区に現存する400棟の町屋の利活用 に向けた景観学習」, 「熊本市街地における<都市空間構成 >と<人の活動>の現況把握」



E. 九州デザインシャレット

○主催:KL2(Kyushu Landscape League)

○協賛:風景デザイン研究会,社団法人 九州建設弘済会

九州工業大学,福岡大学,熊本大学の景観デザインに携わる

○期間:平成17年度~

学生を中心とした組織(KL2)が主催。地元滞在型(約1週間)の 設計演習プログラム。全国から応募した30名程度の学生が,

るでしょう。